

科目名	スポーツツーリズム論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際観光学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Sports Tourism Business	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
			開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	つかはら ゆうじ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	塚原 雄二	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	スポーツとツーリズムの関わりについて学ぶ				
到達目標	スポーツをツーリズムの観点から見て考え、スポーツとツーリズムの相乗効果を見る能力を身につける。				
授業概要	スポーツツーリズムについて、その意義、現状、事例を学び、ツーリズムの重要なコンテンツとしてのスポーツの理解を深める。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション (シラバスの確認) 第1章 スポーツツーリズムとは何か(定義他)				
第2回	第1章 スポーツツーリズムとは何か(分類他)				
第3回	第2章 スポーツツーリズムの現状				
第4回	第3章 スポーツツーリズムの将来性(スポーツの魅力等)				
第5回	第3章 スポーツツーリズムの将来性(スポーツにおけるリーダーシップ等)				
第6回	第4章 スポーツツーリズムのケーススタディ (ホノルルマラソン他)				
第7回	第4章 スポーツツーリズムのケーススタディ (インバウンドのスポーツ)				
第8回	第5章 オリンピック・パラリンピック(歴史)				
第9回	第5章 オリンピック・パラリンピック(東京大会)				
第10回	第6章 世界のスポーツツーリズム				
第11回	グループワーク (スポーツツーリズム・コンテンツの事例研究) (グループ分け、テーマ選定、)				
第12回	グループワーク (グループ研究)				
第13回	グループワーク (発表と Q&A、相互評価) その1				
第14回	グループワーク (発表と Q&A、相互評価) その2				
第15回	グループワーク (発表と Q&A、相互評価) その3				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	(1) 授業前に、授業用配布資料に目を通し。前回までの授業内容を復習しておくこと。(1.0時間程度) (2) 新聞等のメディア、企業、政府等が発信するスポーツやツーリズムに関する情報に注目しておくこと。(1.0時間程度)				
履修条件 受講のルール	ツーリズム事業を幅広く学ぶことを望む人				
テキスト	使用しません。スライド、プリント等によって授業を行います。 授業用のプリントはその都度配布しますので欠かさずファイルして下さい。 欠席した場合、その日に配布物がなかったか確認し、あった場合は、友人同士でコピーして下さい。				
参考文献・資料	授業の中で適宜紹介します。				
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 60%、その他 40% (授業参加度、グループワーク等) を基本として総合的に評価します。</li> <li>・出席回数が規定に満たない場合および授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> </ul>				

オフィスアワー	授業日の月曜日 18:00～18:30 授業日の火曜日 10:00～10:30、12:10～13:00 事前にメールで、または授業の前後にリクエストしてください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	企業において航空・ホテル等のツーリズム分野に長年携わった経験のなかから体験的な事例を紹介しつつスポーツとツーリズムの関係と相互の発展の可能性について実感的に理解してもらえるように授業を進めます。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーリズムを伴うスポーツはツーリズム事業にとって重要性を増しています。ツーリズムとスポーツを結び付けるという創造的な授業ですので楽しみながら一緒に考えていきましょう。</li> <li>・やむを得ず欠席する場合、授業内容で質問のある場合、面談を希望する場合、卒業後の進路で相談したい場合、などいつでもメールで連絡してください。yuji.tsukary@gmail.com</li> </ul>